

【中央公論新社 8月 新刊のお知らせ】

『防衛大学校

一知られざる学び舎の実像』

著者 國分良成／前防衛大学校長

8月9日発売 本体 2000円（税別）320頁

日本を守り抜くために……。

国防の原点がここにある。



8人1部屋の全寮制。朝6時にラッパで起床。髪型、恋愛、外出の規則。朝から夜までみつちりと詰まった「日課時限」と、陸海空1005時間の実践訓練……。世間一般には、大学といえばモラトリアムともいわれる緩んだ期間だが、国防のために寸暇を惜しんで学び続ける若者たちがいる。厳しい日々にもかかわらず、多くの卒業生は「生まれ変わっても防大に入りたい」と口をそろえる。他者のために生きるプライドを秘めた人材を育成する学び舎の実像を、そのすべてを前防衛大学校長が語りつくした。

◎著者 國分良成（こくぶん・りょうせい）

1953年生。81年慶應義塾大学大学院博士課程修了後、同大学法学部専任講師、85年助教授、92年教授、99年から2007年まで同大学東アジア研究所長（旧地域研究センター）、07年から11年まで法学部長。12年4月から21年3月まで防衛大学校長。法学博士、慶應義塾大学名誉教授。この間、ハーバード大、ミシガン大、復旦大、北京大、台湾大の客員研究員を歴任。専門は中国政治・外交、東アジア国際関係。元日本国際政治学会理事長、元アジア政経学会理事長。著書に『中国政治からみた日中関係』（2017年権山純三賞）、『現代中国の政治と官僚制』（2004年サントリー学芸賞）、『アジア時代の検証 中国の視点から』（1997年アジア・太平洋賞特別賞）などがある。

■取材、著者インタビュー等 承ります。

中西恵子 k-nakanishi@chuko.co.jp

中央公論新社 書籍編集局 ラクレ編集部

Tel:03-5299-1870 090（3509）3005